

第6学年外国語科学習指導案

令和3年1月27日（水）第5校時
東山小学校 6年2組 児童数27名
指導者 武政 愛
ひまわり学級 土居 るみ
ALT Madeleine Armstrong

該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと ウ

ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。

話すこと[発表] イ

自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

書くこと イ

相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標

聞くこと ウ

ゆっくりはっきりと話された際に、友だちや家族、学校生活や夏休みについてなど、身近で簡単な事柄について、イラストや写真を見ながらある程度まとまりのある英語を聞いて必要な情報を得ることができる。

話すこと[発表] イ

自分や相手、第三者に関することについて、簡単な語句や基本的な表現を用い、内容を整理しながら話すことができる。

書くこと イ

自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考にその中の一文あるいは一部の語を自分が表現したい内容のものに置き換えて書くことができる。

1 単元名 「小学校生活の思い出を発表しよう」

(NEW HORIZON Elementary English Course6 Unit7 My Best Memory)

2 単元の目標

- ・自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、小学校生活の思い出などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深める。
- ・例文を参考に、文を読んだり、書いたりすることができる。

*なお、本単元における「聞くこと」ウについては、目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に

残す評価は行わない。

3 単元の観点別評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	〈知識〉 My best memory is ～. We saw ～. I enjoyed ～.およびその関連語句などについて、理解している。 〈技能〉 小学校生活の思い出について、My best memory is ～. We saw ～. I enjoyed ～.およびその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う（話す）技能を身に付けている。	自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、小学校生活の思い出について簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合っている（話している）。	自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、小学校生活の思い出について簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おう（話そう）としている。 外国語の背景にある文化の理解を深めるために、わたしの学校について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
書くこと	〈知識〉 小学校生活の思い出に関する語句、My best memory is ～. It was ～. I enjoyed ～.の表現について理解している。 〈技能〉 小学校生活の思い出に関する語句、My best memory is ～. It was ～. I enjoyed ～.を用いて、考えや気持ちなどを書く技能を身に付けている。	相手によりよく分かってもらえるように、小学校生活の思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、考えや気持ちなどを書いている。	相手によりよく分かってもらえるように、小学校生活の思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、考えや気持ちなどを書こうとしている。

4 単元について

○単元観

本単元では、「My Best Memory 小学校生活の思い出を伝え合おう」という題材を通して、日本や世界の子供達の小学校生活の思い出についてのやり取りを聞き、学校行事を通して小学校生活を振り返り、たずねあい、そして、パワーポイントを使ってグループで自分の小学校生活の思い出を伝え合う活動を行う。Unit 6 「Let's think about our food.」では、マデリン先生の家族に日本のおすすめ料理を紹介するビデオを作り、送る活動を行った。その後、マデリン先生の家族からのビデオを見た感想が返ってきて、「小学校の6年間の思い出は何ですか。」という質問をもらった。質問をされたら返事をするのが大切だと考えているので、小学校生活6年間の思い出を振り返り、伝えたいと考えてい

る。卒業を意識し出すこの時期に、6年間のことを振り返ることは、中学校へ向けた気持ちを高める良いきっかけになり、6年間の振り返ることで自分の成長を感じこともできると考える。しかし、児童にとって自分の思い出を伝えたいのは、これまで自分を支えてくれた身近な人（家族・友達・下級生・先生など）だと考える。そこで、マデリン先生の家族に返事をするのはもちろん、これまでの学習でどれくらい英語を使えるようになったか身近な人に知ってもらいたいという考えから、英語で6年間の思い出を発表し、それをビデオに撮り、身近な人に見てもらうことを最終目的とした。

○児童観

本学級の児童は、中学年の時から35時間の外国語活動に取り組み、外国語についての学習を通して、基本的なコミュニケーションの素地を養ってきた。これまでの学習で、外国語を聞くことや外国語を使って伝えることを繰り返し行っているため、聞くこと・伝えることについてはテストや各単元の発表の様子からできていると感じる。

10月に行った外国語教育意識調査では、「英語（外国語活動）の授業は楽しい」76.9%、「英語（外国語活動）の授業に進んで参加している」65.4%、「英語で自分のことや意見を発表することが楽しい」30.8%という結果だった。このことから、外国語の授業を楽しむ児童は一定数いるが、英語での会話や自分の意見を言ったり発表したりすることに苦手意識、あるいは抵抗感を感じている児童が多数いると考えられる。

○指導観

本単元では、単元ゴールを「小学校生活の思い出を発表しよう」と設定し、自分のことを伝え、相手のことを聞いてもっと知ることができる活動にした。発表に苦手意識を持つ児童が多いことから、互いに助け合いながらできるグループ発表を取り入れることにした。グループ発表ということで、一人でする発表より負担が減り、友達と楽しみながらできると考えている。

第1時では、まず、Small Talkを通して、過去形を使って冬休み明けの思い出について話をする。次にHRTの思い出発表を聞いたり、マデリン先生の家族からの感想を聞いたりする。そして、思い出の学校行事について伝え合うという単元ゴールを明確にし、単元末までの見通しを持たせる。それから、小学校の6年間で思い出に残っていることを出し合う。その際、これまでの行事の写真の一部を見せ、いろいろな行事や学習などを思い出させる。その後、日本や世界の子供達が小学校生活についてやり取りしている音声を聞き、過去の表現や月の言い方など、既習表現にふれさせながら、小学校生活を振り返る英語表現を導入していく。

第2時では、前時に引き続き日本や世界の子供達が小学校生活についてやり取りしている音声を聞いたり、映像を見たりしながら、おおよその内容をつかませ、学校行事などの英語表現に慣れさせていく。最後に、「わたしのせりふ」に自分の思い出や行ったところ、楽しんだことを書かせる。「わたしのせりふ」に書いたことがグループ発表の材料になることを意識させたい。

第3時では、まず、Small Talkで小学校の思い出について伝え合う。次に、登場人物の学校行事についての話を聞いて、どの学校行事について話されているのかを聞き取ったり、音声を聞いて絵に対する感想を表す言葉をPDから探し出し4線の上に書き写したりする。そして、修学旅行で見たものや行った場所などについて尋ね合う。最後に、「わたしのせりふ」に小学校生活の思い出について、一文加

えさせる。

第4時は修学旅行で見たものや、一番心に残った学校行事を友達と尋ね合い、4線の上に書き写す。また、そこで楽しんだことなどをペアで尋ね合ってメモをする。友達と尋ね合うことで、相手の思い出を知り、同じ思い出であっても楽しんだことが違うなど、思い出に対する見方考え方の幅を広げさせ、友達の良いところは自分の発表へ取り入れさせたい。最後に音声で慣れ親しんだ例文の意味を理解しながら読み、それを参考にしながら「わたしのせりふ」を書かせる。その際、発表の時に使いたい写真のコピーを渡し、それに合った文章を考えるように促す。

第5時は、まず、モデル映像や教師の作ったプレゼンを見て、ゴールを再確認する。次に、グループに分かれ、各自が順番にグループの中で思い出を紹介し合ってから、発表資料を作る。資料が出来上がったら、練習を行う。その際に、客観的に自分達の発表を振り返れるようにビデオで撮影する。

第6時は、まず、前時の練習映像を「相手にわかりやすく伝えることができているか」を意識しながら客観的に観ることで、発表内容の改善を図る。次に、3組に分かれ、お互いの発表を「相手にわかりやすく伝えることができているか」という観点で見ながらアドバイスをボードに書き、それを伝え合う。そして、中間指導では、各グループに出されたアドバイスや練習する中で出てきた疑問を出し合い、疑問についてはHRTやALTなどがアドバイスを行う。出された意見で、参考になったものは取り入れ、自分のグループ発表を更に改善させる。また、聞く人の反応を受けて話すなど、他者に配慮したやり取りができるように指導を行う。最後に、参観している先生方に発表を観てもらい、感想をもらう。大人の視点での感想をもらうことで、発表を更によくできると考えている。

第7時は、まず、前時にももらったアドバイスを確認してから、アドバイスを基に発表の内容を話し合いながら改善させ、練習させる。次に、3組に分かれお互いの発表を見合い、感想やアドバイスを伝える。その後、各グループに分かれ改善、練習をさせる。前時より良くなっているところを評価し、発表に自信が持てるようにする。

第8時は、グループ練習を行い、1グループずつ、ビデオ撮影を行う。待っている間は、自分が発表した内容をワークシートに書かせる。全部のグループの撮影が終わったら、「Do you know?」と「Challenge」の学習を行う。「Do you know?」では、世界の学校生活について、日本と比較することを通して、学校生活も国によって異なっていることについて気付かせる。それから、Challengeでは、自分たちの学校生活の視点を写し、自分たちの「学校自慢」を行わせる。

5 言語材料

○表現（児童の発話）

My best memory is ～. We went ～. We saw ～. I enjoyed ～. など

○語彙（児童が使う語彙）

学校行事(chorus contest など) したこと (went など) 建物など (temple など)

動作など (sing, play など)

6 単元の指導と評価の計画（8時間）

時	目標（◆）と主な活動（【 】、○）	◎評価規準〈方法〉
1	◆日本や世界の子供たちの小学校生活の思い出についてのやり取りのおおよその内容を理解する。 【Warm-up】 ○Let's Sing 「Four Seasons」 ・曲を聴いて歌えるところを歌う。 【Small Talk】 ○冬休みの思い出を伝え合う。 ○小学校生活の思い出を聞く。 ○単元ゴールを提示し、単元の見通しを持つ。 単元ゴール「小学校生活の思い出を発表しよう」 【Activity 1】 ○単元ゴールに向けて必要な語彙や表現を確認する。 ○Pointing Game PD p 28 【Activity 2】 ○Starting out ・NO1～NO4の音声を聞いて、番号を記入する。 ○Sounds and Letters	*記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導は行う。
2	◆日本や世界の子供たちの小学校生活の思い出についてのやり取りのおおよその内容を理解する。 【Warm-up】 ○Let's Chant 「What is your best memory?」 ・チャンツを聞いて言えるところを言う。 【Small Talk】 ○小学校の思い出について聞く。 ・What's your best memory in elementary school? It's sports day. 【Activity 1】 ○Starting out ・NO1～NO4の映像を視聴する。 ・NO5～NO7の音声を聞いて、番号を記入する。	*記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導は行う。

	○Let's Read and Write ① ○Sounds and Letters	
3	◆学校行事を通して小学校生活をふり返り、たずね合う。 【Warm-up】 ○Let's Sing 「Four Seasons」 ・曲を聴いて歌えるところを歌う。 【Small Talk】 ○小学校の思い出を伝え合う。 ・What's your best memory in elementary school? It's sports day. ・詳しく伝えるように言葉を付け足させる。 【Activity 1】 ○Let's Listen ① ・音声を聞いて、答えを線で結ぶ。 【Activity 2】 ○Let's Listen ② ・音声を聞いて、絵に対する感想を表す語を聞き取る。 ・PD p 29から「beautiful」を探し、4線上に書き写す。 【Activity 3】 ○Let's Try② ・修学旅行などで見たものについて、ペアでたずねあう。 ・What did you see? We saw <u>dolphin</u>. ○Let's Read and Write ② ○Sounds and Letters	*記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導は行う。
4	◆学校行事を通して小学校生活をふり返り、自分の伝えたい思い出を決める。 【Warm-up】 ○Let's Chant 「What is your best memory?」 ・チャンツを聞いて言えるところを言う。 ・PD p 18、19を使って動作などの言い方を復習する。	◎「知」(書) 小学校生活の思い出に関する語句、My best memory is ～. It was ～. I enjoyed ～.の表現について理解している。(ワークシート・行動観察) ◎「技」(書) 小学校生活の思い出

	【Activity 1】 ○Let's Try③ ・一番思い出に残った行事をたずねあい、記入する。 ○Let's Read and Write ③	に関する語句、My best memory is ～. It was ～. I enjoyed ～. を用いて、考えや気持ちなどを書く技能を身に付けている。〈ワークシート・行動観察〉
5	◆発表資料（パワーポイント）を作り、発表練習をする。 【Warm-up】 ○Let's Chant 「What is your best memory?」 ・チャンツを聞いて言えるところを言う。 【Activity 1】 ・モデル映像や教師の作ったプレゼンを視聴する。 ・一番の思い出の写真を使って伝え合い、グループごとに発表資料を作成し、発表する。（リハーサル・ビデオ撮影）	◎「知」（話・発）〈知識〉 My best memory is ～. We saw ～. I enjoyed ～. およびその関連語句などについて、理解している。〈行動観察・振り返りカード〉 ◎「技」（話・発）小学校生活の思い出について、My best memory is ～. We saw ～. I enjoyed ～. およびその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う（話す）技能を身に付けている。〈行動観察・振り返りカード〉
6 (本時)	◆小学校生活の思い出について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどが伝わるように発表の練習をする。グループで発表の練習をする。 【Warm-up】 ○文章キーワードゲームをする。（場所） T 「I went to ～.」 C 「I went to ～.」 【Activity 1】 ・前回のリハーサル映像を見て、発表の練習をする。 ・3組のグループに分かれて、互いに発表を見せ合い、アドバイスをしあう。（中間指導） ・自分たちの発表を改善し、練習する。 ・先生達に発表を見てもらい、感想をもらう。	◎「主」（話・発）小学校生活の思い出について、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの考えや気持ちなどを話そうとしている。〈行動観察・振り返りカード〉 ◎「思」（話・発）小学校生活の思い出について簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合っている（話している）。〈行動観察・振り返りカード〉
7	◆アドバイスを基に、グループ発表の改善を行いながら、発表の練習をする。 【Warm-up】 ・Pointing Game PD p 28 【Activity 1】 ・前時を振り返り、グループで内容を改善し、練習をする。	◎「主」（話・発）小学校生活の思い出について、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの考えや気持ちなどを話そうとしてい

	・3組のグループに分かれて、互いに発表を見せ合い、感想やアドバイスを伝え合う。 ・自分達の発表を更に改善し、練習する。	る。〈行動観察・振り返りカード〉 ◎「思」（話・発）小学校生活の思い出について簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合っている（話している）。〈行動観察・振り返りカード〉
8	◆世界の学校生活などについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。 【Warm-up】 ・グループ練習。 【Activity 1】 ・発表をビデオカメラで撮影する。 ・撮影を待つ間に、自分が発表した内容をワークシートに書く。 【Activity 2】 ・「Do you know?」 ・Challenge	◎「主」（書）相手によりよく分かってもらえるように、小学校生活の思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、考えや気持ちなどを書こうとしている。（ワークシート・行動観察） ◎「思」（書）相手によく分かてもらえるように、小学校生活の思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、考えや気持ちなどを書いている。（ワークシート・振り返りカード） ◎「主」（話・発）外国語の背景にある文化の理解を深めるために、わたしの学校について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。〈行動観察・振り返りカード〉

7 本時の学習

○本時の目標 小学校生活の思い出について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどが伝わるように発表の練習をする。

○準備物 デジタル教材、児童用テキスト、PC、アドバイスボード、振り返りカード

○本時の展開（6/8 時間）

時間	児童の活動	T1 の活動	◆ALT の活動	準備物◎評価規準 〈評価方法〉
----	-------	--------	----------	--------------------

挨拶 3分	【Greeting】 Are you ready? Yes! Let's start! Yes! Let's start!	【Greeting】 Hello, everyone! How are you? Four questions, please.	【Greeting】 ◆ How's the weather today? What day is it? What's the date? What time is it?	
展開 36分	【Warm-up】 ○文章キーワードゲームをする。		T 「I went to zoo.」 C 「I went to zoo.」	
	自分たちの成長を身近な人たちに知ってもらおう。			
	Today's aim グループで思い出を伝える練習をしよう。			
	【Activity 1】 ・前回のリハーサル映像を見て、発表の練習をする。 ・3組に分かれて、互いに発表を見せ合い、アドバイスをしあう。 ・良かった点や改善点をホワイトボードに書く。 ☆見るポイント 「相手にわかりやすく伝えることができるか」 (中間指導)	練習を見て回り、全体にアドバイスできることを見取る。	◆練習を見て回り、全体にアドバイスできることを見取る。 必要に応じて英語でのサポートをする。	◎「主」（話・発）小学校生活の思い出について、簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの考えや気持ちなどを話そうとしている。〈行動観察・振り返りカード〉 ◎「思」（話・発）小学校生活の思い出について簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合っている（話している）。〈行動観察・振り返りカ

		確認する。 ・相手意識を持つこと (発表の伝わりやすさや内容)、取り入れたい表現等を評価していく。	体で確認する。	ード)
	・アドバイスや中間指導を基に、自分たちの発表を話し合って改善し、練習する。 ・先生達に発表を聞いてもらい、感想を伝えてもらう。	追加を予想される表現例 It was very delicious. Do you like udon? Yes, I do. What animals do you like? I like dogs. You can see elephants.		
振り返り 5分	【Reflection】 ・本時の学びを振り返る。グループで振り返りをした後、振り返りカードに記入する。その後全体で共有する。	・めあてに沿った振り返りをさせる。 ・本時の感想を聞く。 ・児童の活動で良かったところを評価する。友だちの活動の良さに気付いた児童の評価を行う。	◆児童の活動で良かったところを評価する。	振り返りカード
挨拶 1分	【Greeting】 Attention! Let's finish! Yes, let's finish!	・挨拶をする。 Today's leader, please. See you!	◆ See you!	

○板書計画

 Wednesday 1/27th 13:32 p.m.	自分たちの成長を身近な人たちに知ってもらおう。 Today's aim グループで思い出を伝える練習をしよう。
単元計画	Greeting Warm-up Today's aim Activity 1 各グループからのアドバイス（ホワイトボード）

Activity の
詳細